Creative Enzymes®

シノモルガス由来トランスグルタミナーゼ、組換え

Cat. No. NATE-1726

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	トランスグルタミナーゼは、ポリペプチド鎖内または間にアイソペプチド結合を□入することによって、タンパク質の翻訳後修飾を触媒する酵素のファミリーです。これらの酵素は、ペプチド結合したグルタミン残基のγ-カルボキシアミド基とさまざまな一次アミン、特にリジンのε-アミノ基との間でアシル転移反□を触媒します。得られるクロスリンクは非常に安定であり、機械的およびプロテオリティックな分解に□しても抵抗性があるため、非常に重要です。
用途	タンパク質のラベリング、固定化、結合および修飾。
別名	トランスグルタミナーゼ; EC 2.3.2.13; 80146-85-6; トランスグルタミナーゼ; ファクターXIIIa; フィブリノリガーゼ; フィブリン安定化因子; グルタミニルペプチド γ-グルタミル転移酵素; ポリアミン・トランスグルタミナーゼ; 組織トランスグルタミナーゼ; R-グルタミニルペプチド:アミン γ-グルタミル転移酵素; タンパク質-グルタミン γ-グルタミル転移酵素; TG1

製品情報

種	シノモルガス
由来	昆虫細胞
外□	白色の凍結乾燥固体。
形態	精製されたトランスグルタミナーゼは、20 mM Tris-HCl pH 7.5、150 mM NaCl、1 mM DTT、1 mM EDTAから凍結乾燥され、マルトデキストリンを含んでいます。
***EC**番号*	EC 2.3.2.13
***CAS**登□番号*	80146-85-6
分子量	84 kDa（モノマー）、168 kDa（ホモダイマー）
純度	> 還元条件下でのSDS-PAGEによる95%
活性	> 2000 U/mg [活性は、Lorand et al. の方法に従って、N,N-ジメチル化カゼインへのトランスグルタミナーゼ触媒によるモノダンシルカダベリンの取り込み後の蛍光□強速度を測定することによって決定されます。Anal. Biochem. 44 (221-231)。]
単位定義	1 Uは、1 a.u./minの蛍光強度の□加として定義されます（Cary eclipse 蛍光分光光度計、Varianで測定; λex = 332 nm, λem = 500 nm; バンドフィルター = 5 nm; □出器強度 = 600 V; 温度 = 37°C, アッセイ体積 = 1 ml）。

使用法とパッケージング

包装	200 µg
再構成	凍結乾燥された粉末のバイアルに、タンパク質が凍結乾燥されたH2Oの量を少なくとも加えてください。固体が溶解するまで、バイアルを優しく回転させます。再構成後、溶液は作業用アリコットで冷凍保存する必要があります。

保管・発送情報

保存方法	-20°Cで作業用アリコットに保存してください。繰り返しの凍結と解凍は推□されません。常

保存方法	-20 ℃で作業用アリコートに保存してください。一連の送りの保結と解凍は推□されません。常温での配送が可能です。